



手を貸そう

Lend a Hand

2003-2004年度 国際ロータリーのテーマ

第 2560 地区ガバナー

..... 原 信一
会 長 佐野 勝 栄
会長エレクト 渡 辺 喜 彦(クラブ奉仕 A)
副 会 長 小 越 憲 泰(クラブ奉仕 B)
幹 事 荻 根 沢 隆 雄
S A A 杉 山 幸 英
会 計 洪 谷 正 一

例 会 日 毎週水曜日 12:30~
例会場及び 三条市旭町 2-5-10
事 務 局 三条信用金庫本店内
例 会 場 TEL 35-3311
事 務 局 TEL 35-3477
FAX 32-7095

E-mail: sanjo-ss@web-niigata.ne.jp

web: <http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/>

(~は shift を押しながら“へ” のキーを押してください)

本日の出席会員数	65名中50名
先々週出席率	83.87%

会 長 挨 拶



渡邊 喜彦 会長代行

みなさま今日は、会長挨拶を申し上げます。

本日は、新潟南クラブの長谷川時雄さんようこそお出でくださいました。どうぞ、ごゆっくりお過ごしください。

さて、年が明けて早いものでもう二月も中旬をすぎました。新潟にもようやく春らしさが日に日に近づいて参りました。しかし、まだまだ朝晩の冷え込みが厳しい様ですので、是非風邪などを引かれませんよう健康にご留意いただきたいと思います。

本日のニュースでも、また九州で鳥のインフルエンザが発生したと報じられ、毎日海外、国内問わず大変な騒動になっております。牛に始まり、鳥に移り、今度は豚と我々を取り巻く食環境は厳しい状況で、何を食べたらいいのか困った状況です。

ゲ ス ト

新潟南RC 長谷川 時雄 様

先週のメイクアップ

2/15 米山奨学セミナー(長岡)へ
川瀬 康裕さん

2/17 分水へ
細井 増雄さん



先日の講演会で、今、ヨーロッパやアメリカでは、人間の喫煙や食生活について研究がなされ、どうしたら健康で長寿の国を作れるか、と必死であるそうです。特にタバコには「これを喫んだら死ぬぞ」とまで書かれていて、とにかく禁煙運動が盛んであります。皆様も食堂などの禁煙席や航空機の禁煙なども、そうした考え方から大きく変わって来たものと思います。それも、いかに健康に関する保証制度が厳しくなり、国家予算を圧迫しつつあるか、と言うことでしょう。我が国も健康保険等の抜本的見直しを叫ばれているのも、そうした健康管理により無駄な経費の削減と、国民の健康とが重要であり、表裏一体の課題である事と言えるのです。

また食事についても、十年前から世界一の長寿国として、何故日本人が長寿なのかを真剣に調査し、研究がなされたそうです。その結論として、欧米では食生活に問題があると判断し、肉は出来るだけ取らず、パン生活をできるだけ押さえ、野菜をたくさん食べる習慣を身につける。特に、タバコはできるだけ吸わせない方向に指導されています。そのお陰で、非常に健康な人が増え、病気になる人が少なくなり、社会保障に対する余計な経費が大きく削減された、と聞きました。いま我が国ではまったく反対で、これから子育てをして行かなければならない大切なお母さん方や、これから結婚しなければならない女性が、どんどん平気でタバコに手を出し、極端な場合は高校生や、中学生の女子がタバコを吸っているという状況です。そして、自分たちが吸わないようにと指導している「外国製たばこ」が、外国の価格の半分以上に売られ、害とされている肉類がどんどん輸入され、諸外国では悪いとされている食習慣が、日本ではどんどん普及させられていることを皆様どうお考えでしょうか。

地球上では、そこに住む人間の心が荒廃すると、天地異変や環境に大きく影響するといわれています。私が最近痛感いたしますのは、物事の是非が見えなくなっているということです。是非の判断のできない国は、いずれは滅ぶと思います。みんな考えて行かねばならない大切な事と考えます。

今日は、佐野会長が提唱されています、我ロータリーに姉妹クラブをとの案に対して新潟東クラブより長谷川さんをお迎えし、先輩としての体験などを交えてお話を聞きたいと思っております。どうぞ静聴頂きますようお願い申し上げます。会長としての挨拶とさせていただきます。

幹事報告

荻根沢 隆雄 幹事

- ◎ 田上あじさいRCより 創立10周年記念式典のご案内が届いております。
とき 4月10日(土) PM3:30~
ところ 湯田上温泉 わか竹
- ◎ 分水RCより 創立30周年記念式典のご案内が届いております
とき 5月 9日(日) PM1:40~
ところ 分水町文化センター
- ◎ RI2004年国際大会 第二次登録のお知らせが届いております。
第二次登録締切りは 3月15日で終了いたします。参加ご希望の方はお早目に事務局までお申し出下さい。

ニコニコBOX

新潟南RC 長谷川時雄様

三条ロータリークラブの皆様こんにちは！ 伝統ある貴クラブが私の為に卓話のお時間をとって下さいましたことに心より感謝申し上げます、ニコニコボックスと致します。

佐野勝栄さん

新潟南クラブの長谷川様を歓迎申し上げます。姉妹・友好クラブについて勉強させていただきます。

渡邊喜彦さん

今日は3回目の会長代行例会です。よろしくお願ひ致します。そして今日は息子の36回目の誕生日です。
新潟南より長谷川さん卓話有難うございます。

荻根沢隆雄さん

新潟南クラブ長谷川時雄様、今日は有難うございます。よろしくお願ひ致します。

杉山幸英さん

新潟南クラブの長谷川様を歓迎致します。先日ロータリーで志賀高原にスキーに行ってきた。楽しいスキーでした。

会田二郎さん、石塚欣司さん、佐藤 武さん、山田富義さん

新潟南クラブ長谷川さんを歓迎致します。卓話楽しみにしております。

早川昭雄さん

先日「札幌雪まつりと支笏湖水濤まつり」に行き、雪と氷の塑像の芸術を楽しんできました。

藤田紘一さん

皆様、確定申告はお早目に！！

中村和彦さん

ロータリーのメンバーと志賀高原へスキーに行ってきた。楽しい一時でした。

加藤紋次郎さん

タイ国へ一週間ゴルフを楽しんできました。健康の有難さを感じます。

近藤雄介さん

3年ぶりにハワイに行ってきた。帰ってきたら新潟は大雪でした。

菊池 涉さん

寒い寒いとおコタで丸くなっていました。本日早退致します。

捧 賢一さん

春が待ち遠しく、日暮をしております。

金子俊郎さん

ボックスに協力して。

丸山行彦さん

ニコニコボックスは今まで1回平均3万円ほど協力いただいておりますが、今後は平均+1万円でない目標を達成出来ません。ご協力宜しくお願ひ致します。

2月18日分 ￥22,000
今年度累計 ￥710,000

卓話



長谷川 時雄 様

(トキオ代表)

長谷川時雄です。今日は、私のために、ニコニコボックスにたくさんメッセージを入れていただき、ありがとうございます。三条ロータリークラブは、大変伝統がありまし

て、チャーターメンバーが、24人いらっしゃるということ、また、三条ロータリーアクトクラブが、33年間支援され、大変努力されて青少年を育てるということに、私は大変敬意を表したいと思います。

藤田説量先生には、私どもの方にもお越しいただきましたし、若い人たちにも良いご指導をいただき、いつも尊敬しておりますが、今日は欠席ということで、お目にかかれず残念に思っております。それと、皆様からもご支援をいただきありがとうございました。

私の職業は美容師ですが、今は男性が美容師というのは当たり前で、何も感じませんが、40数年前、美容師になるとき親父に「なんで男が女の頭を触るのか。お前をそんな子に育てた覚えは無い」と勘当されました。親父に内緒で東京へ行き美容師になりましたが、みんなから白い目で見られ、悔しい思いもたくさんしてきました。そして、10年から15年くらい、地下にもぐったつもりで、良い技術を身に付け力をつけ、男になろうと思いました。

南ロータリーに入ってから23年経ちますが、最初は白い目で見ていた人がおりました。今はそんなことはありません。ただ、最近テレビでカリスマ美容師と言われていますが、7~8年で技術は身につかないし、そんなに軽い仕事ではありません。カリスマ美容師はテレビ局が作り出した虚像です。私は、今でも技術を磨いていますが、やっと芽が出なかったときにカリスマなどといわれ、本人もいい気になっているようですが、そんなことをしている間に、自分の技術を磨き、お客さんが来たときお客さんが持っている魅力的な物を、瞬間的に判断が出来るようにならなければならないと思います。しかし、女性が美しくなりたいというのは永遠のテーマです。戦争・革命があってもどんなことがあっても、女性は美しくなりたい。それは、男性のためでもあるわけですので、皆さんもそのところを分かってあげて、たまには「美しいね・素敵だね」と声を掛けてあげてください。

三条市も姉妹クラブ・友好クラブについて、だいぶ進んでいるとのことですが、私のところは台

湾と、8年間友好(姉妹)クラブを結んでいて、高崎南ロータリークラブとは、13年間提携しています。日本ロータリー事務局に友好クラブと姉妹クラブの違いを問い合わせたところ、友好クラブ・姉妹クラブの定義は一つも無いそうです。自分たちで了解をとって決めていいのではないかとのことでした。私は、国内は友好クラブを使いますが、台湾とは姉妹クラブを使っています。姉妹クラブのほうが、密接した関係であると台湾の方は主張されますので、姉妹クラブとして提携させていただきました。姉妹クラブのメリットは、自分たちのクラブの中にも確かにキラ星の方はたくさんおられます。しかし、一歩外へ出たとき、自分たちのクラブの中とは違う魅力を持った方に出ることが出来、今までの自分たちの生き方・文化とは違う人々と知り合うことで、日本だけではない考え方に触れ、学ぶことが出来ます。

台湾の方たちは、日本に対する熱い想い、憧れがあります。私も何回か台湾へ行きましたが、向こうの方は、日本が昔持っていた良いものをちゃんと持っていらっしゃいます。良い人との出会い、日本だけではない出会いがある、それが友好クラブを作る一番のメリットだと思います。それと異文化を尊重・理解し、学んでほしいと思います。また、私のように、業界の人たちだけで付合っていると、なかなか本音で話し合うことが出来ません。ですが、ロータリーに入っていると、違う本音の部分、違う生き方の部分、たとえば、60人いたら、60人の生き方で語りあえる関係が出来ますので、是非、姉妹クラブを作っていたほしいと思います。日本にいても地区委員になったり、幹事・会長になったり、地区協議会、地区大会などいろいろな出会いがあります。でも何回会ってもご挨拶だけで終わる人と、一回お会いしただけでドキッとすることがいらっしゃいますが、私の場合、藤田説量先生がそれに当たり、初めてお目にかかったときのあの一言でファンになり大変すごい人だなど、こういう方が青少年を担当してくださるのかと思っておりました。

1/30~2/1 台湾から総勢36名のファミリーがやって来ました。綿密な計画を立て、先輩は名前だけで、すべて若い人に企画・実行を担当させました。そうすると、担当者から細かく連絡が入るわけです。何時に飛行機からおり、バスに乗り、新幹線に時間通り乗ったと。台湾の方たちが駅に到着すると 中国語で“熱烈歓迎”の15メートルほどある横断幕で迎えに来る人、駅からタクシーに乗せて、会場に案内する人、歓迎会・例会を催す人、台湾の方の持ってこられるお土産のお返しなどや、新潟の水族館やふるさと村での魚の解体な

どのプランを立てる人など、いろいろ担当することは大変ですが、そういうことをすることによって、自分たちのクラブがまとまります。姉妹クラブを提携するのは大変ですが、目標を持ち、みんながそれに向かって一つになり、燃えるわけです。それが達成されると、非常にそれに見合った喜びがあります。台湾の方からお礼のメールが来ているので、読んでみたいと思います。

色々お世話していただき、ありがとうございます。忘れられない旅となりました。私は日本語を勉強して、いつか完璧な日本語でお話できるようにします。私の国が大好きです。日本が大好きです。新潟が大好きです。

という熱い思いのお礼のメールが来ています。われわれは、そんなに金持ちではないのですが、日本のロータリーレベルより、台湾のロータリークラブは、2つか3つ、ランクが上だと思います。金持ちが多いですね。ですが、このたび、すべて手作りで歓迎会をやったわけです。それに企画どおりにやりますが、もう一つ心を込めてしてあげたことが、台湾の方たちの心をとらえたのではないのでしょうか。私どもは、約60名でやっておりますが、こういうメールが来ているということは、本当にみんな一生懸命、心を込めて歓迎してあげたということで終わったあと、非常にさわやかな気持ちになりました。また、今年はこちらが訪問し、来年は台湾の方が来られる、というように、一年毎に交代していきます。ただ、日本から行く人数が少ないので、ちょっと恥ずかしい思いをしますが、台湾の方は大勢でやってきます。ですので、訪問するときは、是非お子さんや、お孫さんを連れて、ファミリーでみんなが一緒になって楽しんでいただきたいと思います。

台湾の方の一番喜ぶことは、まず、呼び方です。台湾と言っただけではいけません、中華民国と呼んであげることです。向こうの方は、自分の国をすごく大切にしているし、すごく思っています。日本は拉致事件があって始めて国って何だろう、何をやるんだ、国が国民の命を守る、幸せにしてあげる、それが国の仕事ではないかと、そういうことに始めて目覚めてきたのではないのでしょうか。それから、歓迎の時は、国旗を必ず掲げ、双方の国歌を同等に歌っていただきたいと思います。また、すごく義理がたいし人情深く、昔の日本人のようです。私のクラブで、昨年亡くなった方がいますが、どうして知らせてくれなかったのかとすごく怒られ、その方のお墓をお参りしたいとわかれて、みんなバスに乗ってお墓、お寺に行き、お参りして来ました。それほどまでに思ってください。私は、台湾の方たちに逆に教わるのがたくさん

あります。提携することで、お金がかかる事が一番デメリットだと思いますが、それはそれで、アクションを起こすことが、みんなのため・自分のためになると思います。

国内の方では、高崎ロータリークラブと友好クラブを提携していましたが、2560地区が分かれ、高崎セントラルロータリークラブができ、二つに分かれて淋しいので、仲間に入れてほしいと言うことで、2つのクラブと提携しました。高崎と言うところは、新潟県と性格が違います。面白いものだと思うのですが、高崎も新潟の方に対する熱い思いがあり、たくさんやり取りするのですが、新潟から高崎に行く人数が少ないので非常に悪い気が致します。高崎の場合、何が一番喜んでいただいたかと言いますと、日本海の夕日でした。巻の方の海岸で、テントを張って夕日を見る会をやりましたが、これも企画が大変でしたが、昼間は海水浴、バーベキュー・地引網などで喜んでいただきました。高崎は海が無いものですから、お子様たちが、大変喜んでくれて、地引網はアジが10箱くらいとれたので、海岸で天ぷらにしたり、お刺身にしたり、向こうの奥様たちと一緒にお酒を飲んだり、大変楽しい思いをしてくれました。そういうことをやっていくことで、自分たちのクラブの活性化につながると思います。

当クラブには野球部があります。これも、若い人たちを育てる良い柱になっております。こちらは、チャーターメンバーの大先輩が多く、私も古いほうの人間になってきましたが、若い人たちを育てていくには場を与えることも必要です。変えてはいけない伝統と変えなくてはいけない伝統と二つあると思いますが、その辺を考え、会長・会計を若い人たちに担当してもらい、先輩としてあまり口を出さず、見守っています。時々心配なことがあります。今の若い人たちは、なかなか聞いてこないで、心配なのですが、聞いて来たら教えてあげる、失敗したらそのとき助言してあげればいいので、活躍してもらうことが必要です。当クラブの若い人たちは、大変燃えています。

新世代は0歳から30歳までの青少年を育成しております。でもこの2560地区は、14歳から30歳です。14歳から18歳がインターアクトクラブ(高校生)、18歳から30歳がローターアクトクラブです。ライラは、14歳から30歳までと、3つこういった場があるわけですが、委員を3年やらないと、1年の任期では、何がなんだか分からないうちに終わってしまいます。当地区では、3年間の任期をつけています。ローターアクト・インターアクト委員になりましたら、まず1年目は学ぶ、2年目は委員長になるための勉強をする、3

年目は委員長になって人を育てて、自分は卒業する。3年やらないと、なかなか人材を育成していくと言うのは難しいです。私のところではローターアクト会員が、だいぶ少ないときがあり、3名しかいないときがありました。一部の会員から、解散してはどうかという案もありましたが、ちょうど私がガバナー選出の委員をやっていたときだったので、つぶしては面目が立たないと言うことで、歯を食いしばってがんばりました。何をがんばったかと言うと、お金だけを出すだけではなく、言葉をかけて上げて、一緒に遊び、一緒に理解してあげる、一緒に活躍してあげることです。若者は下から見ているので、人の姿を、いいかげんかどうか、ちゃんと見えています。ローターアクトになると確実に人数が減ってきます。ローターアクト委員になってもらう人には、担当にしている人と、悪い人を考えて担当してもらいたいと思います。

私たちのインターアクトクラブは地区で台北の高校に3泊4日でホームステイをさせています。向こうに行くと、心のそこから一生懸命に歓迎してくれます。ところが、日本の歓迎の仕方が横柄と言うか、困ったところがあります。ところが、高校生同士のふれあいの中で、違う文化、生活習慣に触れ、日本に帰ってくると“俺たちは違う”と言うことに気づくわけです。ですから、できましたら、台湾と交流される時は、ホームステイで、若者たちを交流させることができればいいと思います。そうすることによって、若者たちの今後の生き方に、非常に大変な影響をあたえられるのではないかと思います。

それから、私が新世代を担当させていただいて、いろいろな方に出会った時、こう言われました。“今の日本を、孫たちに残していかなければならない”その言葉を聞いて、ロータリーは何ができるのか・新世代は何ができるのか、と思ったとき、やはりロータリーとして、できることからやろうではないかと。アメリカが、終戦のときに日本の憲法を作るとき、日本をどのようにしたいのか、結果として、今の青少年の虐待・麻薬など、今の日本はおかしい。誰が悪いのかというと、私を含め、大人がきちんと教えていなかった。このままでは、日本が再生できなくなってしまいます。皆さんに是非お願いしたいのは、皆さんもできることから始め、次の世代のために自分が見本となって、次の日本を孫たちが安心して住める日本を造っていきましょう。また皆さんの伝統を生かして、素晴らしい姉妹関係を築かれ、発展されます事、祈ります。今日は、ご清聴ありがとうございました。



Lend a Hand

手を貸そう

2003-2004年度 国際ロータリーのテーマ

第 2560 地区ガバナー

- 原 信一
- 会 長 佐野 勝 栄
- 会長エレクト 渡 辺 喜 彦(クラブ奉仕 A)
- 副 会 長 小 越 憲 泰(クラブ奉仕 B)
- 幹 事 荻 根 沢 隆 雄
- S A A 杉 山 幸 英
- 会 計 渋 谷 正 一

- 例 会 日 毎週水曜日 12:30~
- 例会場及び 三条市旭町 2-5-10
- 事 務 局 三条信用金庫本店内
- 例 会 場 TEL 35-3311
- 事 務 局 TEL 35-3477
- FAX 32-7095

E-mail: sanjo-ss@web-niigata.ne.jp

web: http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/

(~は shift を押しながら“へ” のキーを押してください)

本日の出席会員数	65名中49名
先々週出席率	89.06%

先週のメイクアップ

2 / 24 三条北へ 渋谷正一さん

会 長 挨拶



佐野 勝 栄 会長

皆様今晚は！

新春親睦例会ということで、今宵は和と洋楽器の取り合せで大変ユニークですが、日頃の疲れを琴とフルートのしらべで癒

していただきたいと思います。そして、何よりも松木屋さんの料理と銘酒に舌鼓を打ちながら、大

いに親睦を深め、ロータリーの友情の輪を一層広げていただければ本望です。

特に入会間もない人や、入会3年未満の方は、日頃通常例会では時間もなく、テーブル廻りの限られた人しか話せません。まさしく、今晚は親睦を図る為の例会ですので、顔は存じているが話した事はない、という人と積極的に親睦を図っていただき、お話して頂きたいと思います。

本年度の親睦委員会は山田委員長を始め、皆さんが大変一生懸命に考え、設営していただいたお陰で、納涼例会、親睦旅行、クリスマス例会と、毎回会員数を上まわる盛況で記録更新しております。毎回参加者が多いので、いつも予算オーバーにならないかとハラハラドキドキですが、これも嬉しい悲鳴と思いき喜んでおります。

それでは皆さん今宵ひと時お楽しみください。

